

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年2月8日(2023.2.8)

【公開番号】特開2022-136280(P2022-136280A)

【公開日】令和4年9月15日(2022.9.15)

【年通号数】公開公報(特許)2022-171

【出願番号】特願2022-121022(P2022-121022)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月31日(2023.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の遊技球を貯留可能な貯留可能手段と、

前記貯留可能手段に貯留された遊技球を通過口を介して発射位置に送り出す送出手段と、
その送出手段に設けられる不正防止金属部材と、

前記送出手段により前記発射位置に送り出された遊技球を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射可能手段と、

前記遊技領域に向けて発射された遊技球の内、前記発射可能手段に向けて戻り流下するファール球が通過可能な所定のファール球通路と、

その所定のファール球通路を構成するファール球通路構成手段と

を備える遊技機であって、

前記不正防止金属部材は、屈曲した金属板材からなり、その金属板材の屈曲により形成された第1板面部と第2板面部との間に、遊技球に設けられた線材が進入しうる隙間が形成されたものであり、

前記送出手段には、前記金属板材を収容可能な収容可能部が形成され、

前記金属板材は、前記通過口の、前記発射位置から発射された遊技球の進行方向側に前記隙間が位置するように前記収容可能部に収容され、遊技球との衝突を回避できるように配設され、

前記金属板材における前記第1板面部は、前記第2板面部に対して屈曲した面部であり、
前記送出手段に対する前記金属板材の取付は、その金属板材における前記第1板面部以外の部位でなされ、

前記ファール球通路構成手段には、前記所定のファール球通路を流下する遊技球の通過は許容し、少なくとも一部が前記所定のファール球通路に配置されている状態で逆流する物体の進行を妨害可能に構成される所定手段が設けられ、

その所定手段は、前記ファール球通路構成手段に対して姿勢変化しないように配設され、
遊技球に設けられた前記線材の少なくとも一部が前記遊技領域にある場合に遊技球に設けられた前記線材に負荷を付与可能に構成されることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

40

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機などの遊技機において、不正行為が防止され得る遊技機がある（特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2015-024179号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、不正行為の防止に関して改良の余地があるという問題点があった。本発明は、上記例示した問題点などを解決するためになされたものであり、不正行為の防止に関して改善できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、複数の遊技球を貯留可能な貯留可能手段と、前記貯留可能手段に貯留された遊技球を通過口を介して発射位置に送り出す送出手段と、その送出手段に設けられる不正防止金属部材と、前記送出手段により前記発射位置に送り出された遊技球を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射可能手段と、前記遊技領域に向けて発射された遊技球の内、前記発射可能手段に向けて戻り流下するファール球が通過可能な所定のファール球通路と、その所定のファール球通路を構成するファール球通路構成手段とを備える遊技機であって、前記不正防止金属部材は、屈曲した金属板材からなり、その金属板材の屈曲により形成された第1板面部と第2板面部との間に、遊技球に設けられた線材が進入しうる隙間が形成されたものであり、前記送出手段には、前記金属板材を収容可能な収容可能部が形成され、前記金属板材は、前記通過口の、前記発射位置から発射された遊技球の進行方向側に前記隙間が位置するように前記収容可能部に収容され、遊技球との衝突を回避できるように配設され、前記金属板材における前記第1板面部は、前記第2板面部に対して屈曲した面部であり、前記送出手段に対する前記金属板材の取付は、その金属板材における前記第1板面部以外の部位でなされ、前記ファール球通路構成手段には、前記所定のファール球通路を流下する遊技球の通過は許容し、少なくとも一部が前記所定のファール球通路に配置されている状態で逆流する物体の進行を妨害可能に構成される所定手段が設けられ、その所定手段は、前記ファール球通路構成手段に対して姿勢変化しないように配設され、遊技球に設けられた前記線材の少なくとも一部が前記遊技領域にある場合に遊技球に設けられた前記線材に負荷を付与可能に構成される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

10

20

30

40

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

請求項 1 記載の遊技機によれば、不正行為の防止に関して改善することができる。

10

20

30

40

50